

校長通信

Morifun

芸術の秋・スポーツの秋

<10/4 芸術鑑賞会>

今年はゴスペル&ミュージカルソング「Everything Get To Be Good」の皆さんの演奏でした。彼らはTV・ラジオ・ステージ・ミュージカルの第一線で活躍している実力派のシンガー/演奏者たちが参集して結成された GOSPEL/POPS/MUSICAL SONG/Standard Jazz ユニット、本物を聴いてもらうという合言葉のもとに活動するコーラスグループです。美しい歌声と楽しい話術に引き込まれ、1時間半の公演があつという間に感じられました。今年は3年ぶりに保護者の方々にもご案内することができ、共に楽しいひと時を過ごしました。



pixta.jp - 36138356

<10/19 教進コース3年発表会>

3年教育系大学進学コースの生徒たちは3年間の学びを通して、自らの進路を決定し、将来に向けての学びのまとめをしています。自己の将来像をイメージして、どのような自分像を作り上げるかを、自らの学びの成果を振り返り、一人一人の夢を「自分ストーリー」として発表しました。以下は当日出席して講評を頂いた盛岡大学教授・石川悟司先生のコメントの一部です。

「自分ストーリー発表会」というタイトルから、「ストーリー」という言葉は保育の世界でも使われていることを思った。いわゆる「文脈でものを語る」ということです。

外国の話です。同じ作業をしている3人に「あなたは何をしているのですか」と聞いた。一人は「私はレンガを積み上げています」と言った。一人は「私は門を作っている」と言った。もう一人は「私は大聖堂を造っています」と答えた。同じ作業をしているのに答えが違った。どこに価値をつけて語るかということです。今回の発表も、そういう視点で聞かせてもらいました。

「教師の仕事は決してブラックではない」という人もいた、教進コースなのに「ウェディングプランナー」を目指す人もいた。教進コースの学びで様々な体験をし、多くの人と関わり、自分の目指す道を見つけたということです。すから、すごく価値のあることだと思いました。決まったルールに沿って進むだけでは、多様な価値観は見えない。多様な価値観を身に着けるためにはいろいろな経験して、いろんな人と出会うことが大事です。私も、幼稚園教諭になるとは全然思っていなかったところから、大学2年生ときにあることをやってある人と出会ってから、幼稚園教諭を目指すこととなった。皆さんは、自分の将来の選択肢を狭める時期ではない。もっといろいろな経験をすれば、もっといろんなものが見えてくるし、いろんな考え方もできてくる。そうして初めて自分の将来が決まってくるというのが、今日の発表を聞いて感じたことです。

正しいとされることが正しいとは限らない。ウクライナはロシアの一部であるという一方的な考え方というコメントがありました。全世界を敵に回して戦争をすることはよくない。しかし、歴史的な背景を見たときにそうじゃないかもしれない。スマホは健康に害である、しかし、スマホがあるから孤立した育児の助けになるという可能性もある。そういった裏面を見ていく価値観を見つけていくことが、これから皆さんに求められてくるんじゃないかと思います。といったところを皆さんの発表を聞いて、私も勉強させていただきました。ありがとうございました。

<全校礼拝より>

新約聖書 ローマの信徒への手紙 第12章15節

この9月で、私が花巻教会に牧師として着任して10年目になります。10年経って色々なことを思い出しますが、日々教会ではいろんな問題が起きるし、悩みや病気を抱え天に召される人もいます。これらに対してなかなか自分が何かできるわけではなく、一緒に苦しむ、喜ぶことしかできないのですが、そこに何か大切なことがあると改めて思っています。共に色々なことを経験することが自分にとっての喜びかなとも感じています。

人と関わるのが嬉しいと思うのですが、私が若かった頃は一人で色んなことをしていることが多くて、特に20代前半の頃は牧師になるなどと考えたことはなく、一生懸命自分の文章を書いていました。小説とか論文とか書いて、ずっと部屋に閉じこもっていました。どうしても伝えたいことがあると毎日毎日書くという行為をしていました。文章を書くようになったのは特に高校生の頃で、うまく自分の気持ちが伝わらなくて、人と接するのも苦手意識があって、自分の内側にあるものを人に伝えることができないなと思い、せめて文章にしたらちょっとは伝わるのではないかと考え文章を書き始め、それが習慣になりました。

ある時20代前半に仲の良い友達が、「鈴木君の文章を

読んでも、こうやって話をしているときも、自分が嬉しいことを言ってくれるよ」みたいなことを言われました。それが自分でも意外でした。直接伝えることは苦手だと思っていたけど、そういう風に思ってくれる人もいます。それからさらに数年経って、25歳でアルバイトをしているとき、ある友達が「鈴木君は牧師になったらいいよ」と言ってくれて、キリスト教徒だということも友達は知っていました。その時までそんなことは考えたことはなかったのですが、言われた瞬間にその言葉が心に届いて不思議とずとんと胸に落ちるものがありました。牧師というのは人と関わる仕事だと思い、それはいいことだなと思いました。次の年、大学に入り直して3年生に編入して4年間キリスト教の学校で勉強し、それから花巻教会に来て10年目となりました。

先程読んだローマの信徒への手紙の一節「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」というのが本当に大事な言葉だなと感じています。そしてこの言葉は、私たちが共に喜び共に悲しむことが大事だということですが、まず何よりイエス・キリストがいつも私たちと共に喜び悲しんでくれているんだ、ということなのです。いつも毎週、「いつくしみ深い」という賛美歌を流していますが、これはイエス・キリストが親友だと、ベストフレンドだと歌っているのです。どんな時も一緒に喜んで悲しんでくれる親友なんだと捉えている賛美歌なのです。私たちも一緒に喜んだり悲しんだりする、その隣でイエス・キリストもそばにいて色々なことを共に経験してくれる、というのがキリスト教の考えなのです。今日は「共に」ということでお話しましたが、皆さんもこの先色々な経験をしていきますが、その時に人といつも喜んだり悲しんだりする経験を大切にしていってほしいと思います。

(10月11日 花巻教会牧師・鈴木道也先生)

新約聖書 コリントの信徒への手紙 第13章1節~13節

今日お読みした箇所は「愛の賛歌」と呼ばれています。愛がいかに大切なものか、について色々な文学的表現で書かれています。キリスト教では結婚式で読まれること

が多いです。冒頭の1節を見てみると、「たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、私は騒がしいどら、やかましいシンバル。」どれほど素晴らしいことを言っても、そこに愛がなければ意味をなさない。むしろ楽器のどらやシンバルのようにただやかましいだけなのです。

聖書が語る愛、新約聖書でいうところの愛はギリシア語で「アガペー」と言われています。それは、私たちが普段使っているように、好き、大好きという感情だけではなく、好きではない相手に対しても使うことができる不思議な言葉です。感情的には苦手だな、好きでない相手にもアガペーを使う、愛することができる。聖書のアガペーは、相手を大切にする、尊重するという意味が第一です。自分なりに、相手の存在をかけがえのないものとして、重んじて大切にしようとする、と解釈しています。そしてアガペーの反対はどういうことかという、相手のことを軽んじる、人を適当に扱うとか傷つけるということなのです。こういうふうに軽んじることが愛とは反対のことだと思います。

愛するというのは、好きではない相手に対しても、少なくともその人を軽んじたり攻撃したりしない。そういうふうに自分の中で決意すること、そういう姿勢を取ること、それが相手を重んじることにつながります。今の私たちの社会は、ついつい自分の好き嫌いの感情で動いてしまいます。自分が相手を嫌いだから攻撃してしまう、傷つける、軽んじてしまう、といったことがあります。そうして傷つけられると、今度は相手を傷つける連鎖が起こります。人を軽んじ軽んじられるという悲しい連鎖をいかに断ち切るか、それが私たちにとっての大事な課題なのです。

本日の第13節には、「それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。」とあります。大切なものは、信仰と、希望と、愛、その中でも特に大事なのが愛である。というのも聖書のアガペーは神から生じているもの、という

ように受け止められているのです。アガペーは神様の愛をまず第一に指している。まず神が私たちを重んじてくれる、私たちをかけがえのない存在として大切にしてください。その愛が私たち一人一人に分け与えられるのです。たとえ、私たちがこの人は好きじゃないと思って、嫌だなと思っていても、神の目から見ると、その人もかけがえのない大切なひとりだと、思い起こすことが大事です。かけがえのないというのは、代わりがきかない、ということです。私たち一人一人が神様から、代わりのきかない存在だと重んじ大切にしてくれるのです。このように私たちもお互いを大切にしたい重んじていくことができますように。(10月18日 花巻教会牧師・鈴木道也先生)

<部活動の活躍から>

【柔道部】県高校新人大会 (10/14~15)

団体 第2位 決勝2-3 盛岡南

個人男子 60kg③市ノ渡大誠 66kg級①小田祐輝 73kg級③伊藤旬 81kg級③熊本蓮 90kg級③佐々木優大 100kg①山藤光星②浅田唯斗③三浦志斗 女子 57kg②一戸柚

【陸上部】高校駅伝県予選会 (10/21)

男子 第2位 2時間12分46秒 【1区 ①佐藤誠悟 2区 ②熊谷泰晟 3区 ①佐藤凜 4区 ③岩崎晟斗 5区 ①佐々木稼全 6区 ③北田楓雅 7区 ①天瀬海斗】

女子 第4位 1時間25分05秒 【1区 ④木野下奈々 2区 ④佐藤花 3区 ④工藤沙羅 4区 ⑤高橋碧渚 5区 ③名倉柚希】 男女とも東北大会出場

【サッカー部】高校選手権大会県予選 (10/1,8,15,22)

ベスト8 準々決勝 0-2 盛岡誠桜

【野球部】秋季高校野球東北大会 (10/18)

2回戦5-7 学法石川 (福島第2)

【演劇部】県高校演劇発表大会 (10/20~23)

優秀賞 (第3位相当) 創作脚本賞 佐藤一樹先生

『Yperite (イペリット)』